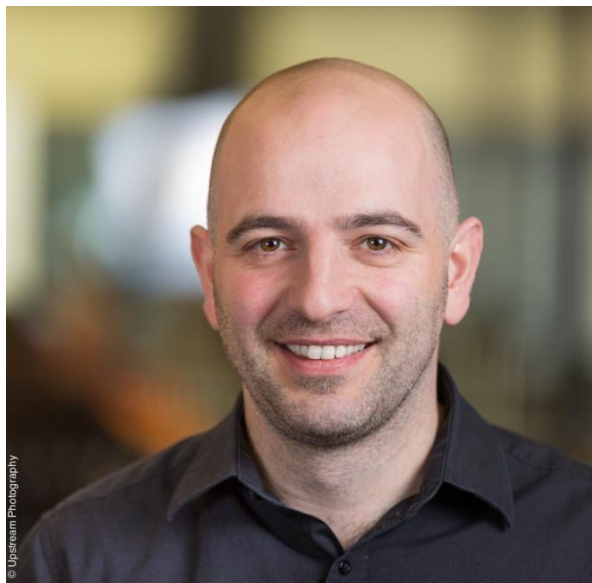


Adrian Spillett

打楽器公開レッスン



エイドリアン・スピレット

1998年BBCヤング・ミュージシャン・オブ・ザ・イヤーを打楽器奏者として始めて受賞、同年ユーロビジョン・ヤング・ミュージシャンズ音楽コンクール第3位。1999年、The Percussion Quartet, 4-MALITYを結成。現在、バーミンガム市交響楽団の打楽器首席奏者。定期的にバーミンガム現代音楽グループ、グラハム・フィットキン・バンド、コリン・カリー・グループ、ジョン・ウィルソン・オーケストラと共演をする。グラストンベリー・フェスティバルで、スティーヴ・ライヒ作“18人の音楽家のための音楽”をロンドン・シンフォニエッタと共演、BBCプロムス音楽フェスティバルでは、ワールド・オーケストラ・フォア・ピースと共演、又中国でスチュワート・コーブランド作のパーカッション・カルテット・コンチェルト、“Poltroon in Paradise”をロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団と共演。ソリストとしての共演は、ロイヤル・リヴァプール、BBCフィルハーモニック、ロイヤル・フィルハーモニー、アイルランド室内管弦楽団と行う。コンチェルトでは、ジェームス・マクミランと“久しく待ちにし主よとく来たりて”、安倍圭子のプリズム ラブソディII、ジョセフ・シュワントナーのパーカッション・コンチェルト、及びDinuk Wijeratneのパーカッション・コンチェルトの初演を行う。

6月27日(月)

東京音楽大学

Bスタジオ

17:30~

伊藤諭(科目等2年)

「オーケストラ・スタディ」

古川翔也(科目等1年)

「オーケストラ・スタディ」

野村茉由莉(大学院1年)

「オーケストラ・スタディ」

久保創(大学4年)

「オーケストラ・スタディ」